

enen

通信 No19



NPO法人
多摩在宅支援センター 円

〒186-0003

東京都国立市富士見台1-25-21-205

TEL：042-505-5880

FAX：042-573-2869

発行：2023年8月15日

発行責任者：中嶋 康子

日頃より当法人へのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

今年のゴールデンウィークが終わってから、長かった新型コロナウイルス感染症の対応が5類となり各事業も少しずつコロナ前の活動に近づきつつあります。そうはいつでも法人内で感染者は出ており、完全に元に戻ることは難しいと思いながらポストコロナの時代をどうしていくか検討しつつ日々過ごしております。

2022年度の決算を受けての理事会・総会も終わりました。紙面・ホームページで事業報告・決算報告・今年度の事業計画を見ていただければと思います。理事会では運営が安定しているが、将来に向けての活動を今から始める必要性を強く指摘されました。また、グループホーム事業が占める割合が多い事から「いいグループホーム」について意見交換がされました。近年グループホームにおける虐待割合が高くなっており、虐待防止について人権意識を持つことの必要性についての意見もありました。

今年に入ってすぐに八王子にある「滝山病院」で患者虐待で逮捕者が出ました。私たちの活動する多摩地域で起きた事件です。病院については地域ではずいぶん前から死亡退院が多い事や、外来がなく閉鎖性の高い病院であることは知られていました。今回の事件を受けて感じたことや考えることはたくさんあります。一人で考えてもなかなか整理ができないので、それぞれの現場や仲間と話してもいます。できることも含めてまだまだ途上段階にあると言えますが、その中でも精神医療・福祉に携わる者として、これは特別なことでなく自分たちの日常・支援の地続きにあることを意識する必要があると思います。そして、それを防ぐためにすることもまた、日常の小さなことの積み重ねであると言えます。自分のことも相手のことも同様に人権意識を持ち尊重していくこと。一人で抱え込むのではなく誰かに話すこと。閉鎖的な環境を作らないために外部に開かれている事。そして、コロナになり少なくなってきた交流を増やしていくこと。特に精神科病院に外部から入っていくことが大切だと思います。法人を立ち上げたときに「医療と福祉の溝を埋めていく」ことを活動方針の一つとしました。できるだけ退院前のカンファレンスや、入院した時のお見舞い・カンファレンスに出向くことを意識的にやってきたと思います。しかし、コロナ感染の影響からそれがままならない期間がありました。しかし今回の事件をきっかけに再度病院に出向くこと、医療に外部の人間が入ることの意味を改めて意識していきたいと思います。そして、私たちも外部の人（関係者だけでなくいろいろな人）と交流を持つこと。また、各地域で起こっている退院支援についてもできることをしていきたいと思っています。

理事長 中嶋 康子

各事業所の近況

リカバリーセンター転(立川)

立川市錦町に移転し4年目に入りました。おかげさまで生活介護は順調に利用登録者が増え、令和5年4月から定員を14名に増やすことができました。

今年度前半は職員の入れ替わりも激しく、ご不便をおかけしたところがありますが、職員の平均年齢が若くなり、以前とはまた違う雰囲気です。

昨年度は福祉サービス第三者評価を受審しました。まだまだ改善点はありますが、すべては利用者さんに利用しやすい環境や支援を提供することですので、修正をしていきたいと思えます。

相談・見学は随時受付中です。引き続きリカバリーセンター転をどうぞよろしくお願いいたします。



グループホーム櫻の杜ハウス(国立)

櫻の杜の一番の特徴と言えば、平日の夕食サービスを提供していることです。職員が真心込めて作っています。大人気、焼き鳥丼を始め、季節に合わせたメニューを取り入れたり、市民農園で取れた野菜に合わせて提供しています。今年の初収穫、枝豆は絶品でした。



また、9月にやっとBBQを開催しました！開催時期もコロナのお陰でオリンピックみたいになってしまいました。コロナやインフルエンザが流行り始めてはいますが、グループホームを卒業された方も含めて楽しむことができました。皆で一緒に思い出が作れることが増えていくことを願うばかりです。

最期になりますが、上半期で職員の入れ替わりがあり利用者始め、関係機関の皆様にご迷惑をおかけしておりますが、引き続き、櫻の杜ハウスをよろしくお願いいたします。

各事業所の近況

グループホームくぬぎの杜(八王子)

くぬぎの杜ではコロナウィルスが5類に移行したことに伴い入居者さんとの行事を検討しました。コロナになり3年間近く色々な行事がストップしていました。この3年を振り返るとあっという間の出来事のように感じますが、3年の年月は長かったとも思いません。

入居者さんへ行事希望についてアンケートを行い年間の予定を立てました。8月には居宅生活安定化自立支援事業と一緒に納涼会を実施します。10月には焼肉食べ放題、12月はクリスマス会を予定しています。また奇数月はカレー会・偶数月はスープ会として入居者さんと一緒に調理をしています。立川防災館で防災訓練を実施するなど、生活に即したものも実施します。



グループホームは住まいの場のため個別のかかわりを主としながら横のつながりつくりも行っています。行事は余暇活動としての楽しみも大切ですが、有事の時に入居者さん同士が知った顔としてゆるくつながりがもてることも目的としています。行事はブログでも紹介していますのでご覧ください。



グループホームとちの木坂ハウス(八王子)

2021年4月にくぬぎの杜から独立し、早2年が経過しました。「とちの木坂ハウス」は立地の利便性や以前から入居していた人の状況から「日中活動ができている人で、独立を目指す人の日常生活のアセスメントと支援」をコンセプトとしています。滞在型ですが、期限を決めずに緩やかに卒業を目指す人のお手伝いができればと思っています。

そんなグループホームなので皆さん忙しく、行事はできるだけ少ない方がいいとの意見も聞かれます。その中で昨年6月から澤田恭子さん（NPO法人縁）をファシリテーターに迎えて「ピアサポ」というグループワークを始めました（毎月第二土曜日14～16時）。

参加者は1～4人です。まだまだ流動的なグループですが、どうなっていくか楽しみにしています。



各事業所の近況

居宅生活安定化自立支援事業(八王子)

居宅生活安定化自立支援事業（以降居宅）では最近新たな生活へ踏み出す方が増えています。家族から自立するためにグループホームへ入居した人、長年住んでいた住居から転居した人、そしてスタッフも同じく新たな生活へ踏みだしています。

居宅は八王子市生活自立支援課より委託を受けて行っているため、支援の対象者は生活保護受給されている人や生活困窮者が対象となります。

今回グループホームに入居された人は数年かけて外出支援を行い次のステップにつながりました。長年住んでいた一軒家から都営住宅へ転居される人が引っ越しをする時は、部屋の荷物が多く整理をするのに困り、また別の人には自分の大切にしているキャラクターを運ぶのかなど様々な思いを携えて次の生活をスタートさせています。スタッフはそれぞれの人の思いを大切にしながら支援を行ないました。

また利用者さんだけでなくスタッフの一人も新しい命が宿り、次のステップとして新たな生活に向けて準備を始めています。そのためスタッフ体制も新たに組み直しました。



居宅では個別支援だけでなくグループワークとしてゆるゆるも月1回開催しています。社会資源につながる前の人とのつながりを持てるよう利用者さんとスタッフが一緒に企画運営しています。ブログで活動を紹介していますのでご覧ください。

新入職紹介



リカバリーセンター転

遠藤梨名

去年9月より勤めている遠藤です。
趣味は韓国ドラマを観ることと、ディズニーランドに行くことです。
転では、昼食の献立作りも担当しています。
メンバーの皆さんに美味しいメニューを提供できるように頑張ります。

乾凌斗

4月に入職しました乾です。
趣味はバスケットボールやバレーボールの球技全般とサバイバルゲームです。
新卒でまだまだ至らない点は多いですが、自分らしく精一杯頑張ります。
よろしくお願いします。

林恵美理

3月から転に勤務している看護師です。
私は登山やウォーキング、スポーツが好きです。
プログラムのボッチャではメンバーの皆さんと対戦することもあります、どんな時も勝負ごとには負けたくない、負けず嫌いな性格です。
メンバーの皆さんの力に少しでもなれるように努力していきます。
よろしくお願いします。

藤倉栞

初めまして、7月から勤務している藤倉と申します。
バレーボールが趣味で小学校からやっていて、現在もママさんバレーをやっています。
皆さんと楽しく皆さんの力になれるように頑張ります。
よろしくお願いします。

居宅生活安定化自立支援事業

鈴木達也

はじめまして。8月から居宅のメンバーに加わりました鈴木達也です。駒木野病院の看護師です。プロレス好きで内藤哲也選手推しです。週2回出向して、微力ではありますが居宅の仕事に貢献できればと思っています。
よろしくお願いします。

くぬぎの杜

横田康伸

9月より、くぬぎの杜に入職いたしました横田康伸と申します。
生まれも育ちも八王子で、八王子が大好きです。バドミントンが好きで今もやっています。
メンバーの方々が安心して生活できるように微力ながら頑張りたいと思っています。
宜しくお願い致します！

櫻の杜ハウス

村中克行

9月より櫻の杜ハウスに入職している村中と申します。
趣味はオンラインゲームで、室内でのんびり過ごすことが好きです。
入居者さんや先輩の職員を頼りつつ、入居者さんが本人なりの次へのステップを歩めるよう、お仕事していければと思っています。
よろしくお願いします。

令和4年度 事業報告

1 事業の成果

多摩地域を中心に、障害者の福祉サービス及び住宅サービス等を行い、住み慣れた地域で利用者のニーズに応える多様な生活を支援することを目的としている。特に八王子市・立川市周辺地区を中心とした精神障害者のニーズに合わせた通所及び住宅サービス（退院後の受け入れ）のサービスの質及び量の拡大を図っている。地域の医療機関・福祉関係・行政機関と連携し、厚みのある支援を行った。また、ひきこもりやサービスに繋がりにくい方々へ行き届くように、送迎を行い生活訓練事業・生活介護事業を行いサービスの充実を図っている。また、2019年度より仕事に就いている障害者の自立に向けた支援のためのグループホームの運営を行っている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【183542】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス	①グループホーム管理運営 ②グループホーム管理運営 ③グループホーム管理運営	4月	①国立市富士見台1-25-21 ②八王子市柗田町520-1 ③八王子市子安町3-27-11	①8人 ②8人 ③2人	①障害者 ②障害者 ③障害者	①14人 ②19人 ③6人	①50792 ②55292 ③17657
	①自立生活援助事業 ②自立生活援助事業	4月	①国立市富士見台1-25-21 ②八王子市柗田町520-1	①4人 ②6人	①障害者 ②障害者	①7人 ②5人	①1151 ②1164
	ショートステイ事業	4月	国立市富士見台1-25-21	8人	障害者	不特定多数	6356
	生活訓練事業	4月	立川市錦町3-5-22-602	8人	障害者	19人	17715
	生活介護	4月	立川市錦町3-5-22-602	8人	障害者	15人	10425
障害者の生活援助事業	居宅生活安定化自立支援事業	4月	八王子市日吉町13-35	5人	関係機関職員・高齢者・障害者・一般市民	92人	16357

令和5年度 事業計画

1. 利用者の視点

☆活動地域毎の「街で暮らしやすい包括的な仕組みづくり」を目指す

☆サービスの質向上のため職員の人材育成に力を入れる

(1) 各事業所の利用者ニーズに合わせた事業の具体化を図る

- ①利用者のニーズを把握
- ②物件確保・保証人確保が困難な方への不動産支援事業の活用
- ③サービスの質の向上を図る
- ④ピア活動の支援

(2) 法人理念を各事業所職員に共有化を図り、具体化させていく

- ①利用者ニーズに合わせた支援を展開

(3) グループホームの活用

- ①ニーズに応じたサービスの展開
(櫻：高齢対応の滞在型・とちの木：ユニット増加)
- ②第三者評価を受ける(とちの木)

(4) 八王子地域の支援体制整備～精神科病院との協働

(5) 株式会社円グループとの連携を図る

2. 業務(仕事)の視点

☆中長期計画の具体化

(1) 組織運営

- ①定期的な会議の実施(経営会議・所長会)
- ②リーダー育成(主任任命)
- ③BCP(福祉施設の事業継続計画作成ガイド)の点検

(2) 経営安定の作戦

- ①各事業所の安定的な運営
- ②中長期計画による事業の立案

(3) サービスの質の確保と効率化

- ①職員の更なる能力向上のため個別計画を作成し研修に反映
- ②業務マニュアルを整備し、実績評価を行う(BCP・感染対策・虐待防止)
- ③研修の充実～年間計画の作成・新人研修・人事考課研修・年2回の法人研修

(4) 地域ネットワークへの積極的参加

- ①地域委員や関係団体委員(ちたま事務局・自立支援協議会等)への積極的参加
- ②ホームページによるタイムリーな情報公開
- ③地域交流への参加・イベントの企画と実施

令和5年度 事業計画

3. 職員（確保・育成・働きがい）の視点

☆人材育成

- (1) 労務管理
 - ①必要な細則作成
 - ②処遇改善特別加算取得の準備
 - ③職員のメンタルヘルスの充実
- (2) 適正な人事考課の実施
 - ①全体研修・評価者研修の実地
- (3) 人材確保・人材育成
 - ①研修委員会を作り内部研修の実地
 - ②新人・中堅・管理者研修の実地
 - ③外部研修への積極的参加
 - ④人材確保のため研修の計画
 - ⑤外部からの講師依頼を受託



ブログのご紹介

NPO法人多摩在宅支援センター円では、ホームページにて各事業所の日常やイベントの風景を切り取り、ブログにしています。「この事業所ってどんな雰囲気のところなんだろう？」という疑問に、少しでも応えられるよう、随時記事を更新しています。

コロナ禍においても行える取り組みは工夫を凝らして行い、支援を続けてきました。その一部はブログにて掲載しております。

今後もコロナウィルスを含めた感染症対策を行いつつ、利用者ニーズに合わせた支援を展開してまいります。8月はリカバリーセンター転にて外出プログラム、9月は居宅生活安定化自立支援事業&くぬぎの杜にて納涼祭、櫻の杜ハウスにてバーベキューの記事が更新されています。ぜひ皆様にご覧いただければと思います。

賛助会費納入のお願い

皆さまのお力添えをいただいているからこそ、『円』は成り立っています。いつもご支援いただきまして、誠に感謝しております。ありがとうございます。

今年度の賛助会費(¥1,000)の振込用紙を同封させていただきますので、なにとぞ、納入いただきますようお願い申し上げます。

